

令和5年度の研究(または活動)内容

【交通安全】

- ・ 基礎研究として、リスクへの態度とその対応行動に関する認知心理学実験のひとつである Brinkmanship 実験(Wilde, 1988)を実施した。Wilde のオリジナルの実験を可能な限り忠実に再現する一方で、得点関数については複数の形を仮定し、実験を行った。結果、Wilde が提唱するリスクホメオスタシス理論について、得点関数を変更しても、理論の成立を一部確認することができた。(菊池)
- ・ 物体までの距離認知の特性を把握するため、直視による距離認知とカーブミラー越しの距離認知を比較する実験を行った。既往研究と同条件では、ほぼ同じ結果(ミラー越しでは約 1.2 倍遠くに見える)が得られたが、対象物の大きさや明るさを操作すると、1.34 倍程度遠くに見積もられていた。(菊池)
- ・ 自転車の交通事故防止と交通ルールの励行など安全意識の向上を一層図るため、高校生が主体的に取り組む課題解決の活動について情報を共有し、その効果的な実践と今後の課題について高校生同士が議論を行うイベントとして、「みやぎ高校生サイクルサミット 2023」(宮城警察本部交通企画課、宮城県教育委員会)における交通安全教室を実施した。(小川)
- ・ 交通安全危険予知訓練教材として VR を活用した教材を開発し、従来型の写真教材との比較により効果把握を行った。(長谷川)

【避難行動支援】

- ・ ナッジを用いた避難促進メッセージの効果について、アンケート調査により分析した。結果、「ナッジメッセージには効果がある」「ナッジメッセージを強調(文字色、文字サイズ)すると、より効果が高まる」ことが確認できた。(菊池)
- ・ 3D 都市データを活用した防災教育コンテンツの開発と実践を展開した。今年度の主な実践内容については以下の通りである。(小野)
 - 学都「仙台・宮城」サイエンスデイ 2023, 「マイクラで学ぼう! みんなの町の洪水マップ (Minecraft 非公式)」, 仙台(写真 1)
 - PLATEAU Kids Challenge ~日本の街をマイクラフトで遊んでみよう! ~(主催:国土交通省)
 - 仙台サステナブル防災クエスト~目指せ! 防災勇者! ~楽しく防災を学ぼう! (主催:仙台青年会議所)
 - 川平小学校川小フェスタ(主催:仙台市立川平小学校 PTA)
 - Plateau Idea Pitch Sendai 2023(主催:仙台市)
 - 岩手県盛岡市小中学校における防災教育(主催:国土交通省)(写真 2)
 - 宮城県仙台市立小学校における防災教育(主催:仙台市)
- ・ 過去に開発された「防災避難すごろく」の効果分析のために大学生を対象とした防災避難教室を実施した。(中井、菊池)



写真 1



写真 2

【地域交通支援】

- ・ 八木山・向山地区住民を対象とした公共交通利用促進活動を仙台市都市整備局公共交通推進課と協同で実施した。主な活動内容は以下の通りである。(菊池)
 - 対象地域住民向けに、WEB を用いた情報提供(全 5 回配信)を実施し、態度変容を促した。またその効果測定のためにパネル調査を実施した。結果、バスの利用意向の増進が確認できた。
 - 勾当台公園で開催された「魅力いっぱい！交通フェスタ」に、バスの利点等を広報するため、ブース出展した。特定の写真を撮影するミッション企画(91 組 234 名参加)、バスに関するクイズ(83 組参加)を実施し、また上記パネル調査にご協力の来場者には、「ミニトレイン」の乗車券を配布した。(写真 3)
 - 八木山地区で開催された「秋の八木山フェスタ」において、バス空間を模したブースを設置し、バス停での出発から到着までの乗車体験を通した乗り方教室を実施し、車内のマナーやルールなどを親子で楽しく学習できる機会を提供した。(48 組 94 名参加)(写真 4)



写真 3



写真 4

【研究会の開催】

- ・ 2023 年 8 月 5 日(土)に第 1 回、2024 年 3 月 6 日(水)に第 2 回の研究会を開催し、進行中の研究に関する議論を深めた。